

		作成日 改訂日 判定ルール 対応版	2025/09/18 JIS GHS 6版
安全データシート(SDS)			
1. 化学品等及び会社情報			
化学品の名称(日本語) 供給者の会社名 住所 電話番号 電子メールアドレス ファックス番号 推奨用途 使用上の制限	FCツナアップ強化A 株式会社フードタッチ 〒356-0051 埼玉県ふじみ野市亀久保1630番地6 049-267-8966 fdt@hkg.odn.ne.jp 049-263-9135 食品添加物 使用の際は食品衛生法を遵守すること。		
2. 危険有害性の要約			
GHS分類 ※ 記載無きGHS分類区分:区分に該当しない(分類対象外)、又は分類できない 健康に対する有害性	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) 区分4 眼に対する重篤な損傷性／ 区分1 眼刺激性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)(1) 区分3 気道刺激性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)(2) 区分3 麻酔作用		
GHSラベル要素			
絵表示(ピクトグラム)			
			
注意喚起語 危険有害性情報		危険 重篤な眼の損傷 吸入すると有害 呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ	
注意書き 安全対策		粉じん／スプレートの吸入を避けること。 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／フェイスガードを着用すること。	
応急措置		吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 気分が悪いときは医師の診察／手当を受けること。	
保管		換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。	
廃棄		内容物／容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。	
3. 組成及び成分情報			
化学物質・混合物(製品)の区別 化学物質・混合物(製品)名称 成分及び濃度又は濃度範囲、 化学式及び分子量、 CAS登録番号	混合物 FCツナアップ強化A		
組成物質(1)	炭酸ナトリウム(38.00 %)(CAS RN:497-19-8) Na2CO3(分子量105.99)		
組成物質(2)	クエン酸 (CAS RN:77-92-9) C6H8O7(分子量192.12)		
組成物質(3)	ブドウ糖一水和物 (CAS RN:14431-43-7) C6H12O6・H2O(分子量198.17)		
組成物質(4)	塩化ナトリウム (CAS RN:7647-14-5) NaCl(式量58.50)		
組成物質(5)	クエン酸三ナトリウム二水和物 (CAS RN:6132-04-3) C6H5Na3O7・2H2O(分子量294.10)		
組成物質(6)	炭酸水素ナトリウム (CAS RN:144-55-8) NaHCO3(式量84.01)		
組成物質(7)	L-アスコルビン酸 (CAS RN:50-81-7) C6H8O6(分子量176.12)		
組成物質(8)	コハク酸 (CAS RN:110-15-6) C4H6O4(分子量118.09)		
組成物質(9)	L-シスチン (CAS RN:56-89-3) C6H12N2O4S2(分子量240.30)		
組成物質(10)	DL-リンゴ酸 (CAS RN:6915-15-7) C4H6O5(分子量134.09)		
組成物質(11)	ミックストコフェロール製剤		
官報公示整理番号(化審法)	炭酸ナトリウム及び炭酸水素ナトリウム:化審法官報整理番号(1-164)【炭酸ナトリウム】 クエン酸:化審法官報整理番号(2-1318)【クエン酸】 塩化ナトリウム:化審法官報整理番号(1-236)【塩化ナトリウム】 L-アスコルビン酸:化審法官報整理番号(5-62)【L-アスコルビン酸】 コハク酸:化審法官報整理番号(2-846)【コハク酸】 L-シスチン:化審法官報整理番号(9-1587)【L-シスチン】、化審法官報整理番号(2-1468)【3, 3'-ジチオビス(2-アミノ プロピオン酸)】 DL-リンゴ酸:化審法官報整理番号(2-1442)【リンゴ酸】		
官報公示整理番号(安衛法)	L-シスチン:安衛法官報整理番号(2-(12)-135)【シスチン】		
4. 応急措置			
吸入した場合	吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師の診察／手当を受けること。		
皮膚に付着した場合	皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 炎症や痛みが発生した場合は、医師の診察／手当てを受けること。		

眼に入った場合	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師の診察／手当を受けること。
急性症状の最も重要な徴候症状	最も重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2)および/または項目11を参照すること。
5. 火災時の措置	
適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性	粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、二酸化炭素 データなし 火災によって刺激性、有毒及び／又は腐食性のガスを発生するおそれがある。項目10を参照すること。 水と反応し二酸化炭素が発生するため、換気が不十分な状態で多量の製品に水をかけた際に、酸欠による意識の消失や窒息のおそれがある。
特有の消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させること。 周辺火災の時、移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移すこと。 移動不可能な場合は、容器又は周囲に散水し冷却すること。 消火作業は風上から行い、かつ、換気の良い状態で行うこと。 周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。
消火活動を行う者の特別な保護具	消火作業の際には必ず、防火服、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器を使用すること。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項 人体に対する保護具 人体に対する緊急時措置	漏出場所の風上から作業し、風下の人を退避させること。 個人用保護具を着用すること。 危険な区域から避難し、緊急時手順に従い専門家に相談すること。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立入りを禁止すること。
環境に対する注意事項 封じ込め方法及び機材・材料 浄化方法及び機材・材料 二次災害の防止策	製品が下水道や公共の水域に排出されないよう注意すること。 粉塵の飛散に注意しながら掃き集め、密閉容器に回収すること。 付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分すること。 回収後は多量の水で洗い流すこと。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取り扱い 技術的対策 取り扱い 安全取扱注意事項	換気の良い場所で使用すること。排気装置や集じん機で、粉じんの飛散を抑えること。 粉じんを吸入しないこと。 飲食や喫煙をしながらの取扱いを避けること。 取扱い後は手や顔などをよく洗うこと。
取り扱い 接触回避	湿気を避けること。 酸化剤などの混触危険物質から離して保管すること。
取り扱い 衛生対策 保管 安全な保管条件	産業衛生及び安全の基準に基づいて取り扱うこと。 推奨された保管温度以下、火気のない遮光された環境で、施錠して保管すること。 換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。
保管 安全な容器包装材料	法令の定めるところに従うこと。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度 管理濃度 設備対策	設定されていない。 設定されていない。 作業者が直接暴露されないよう、密閉化した設備又は局所排気装置を設けること。 取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設けること。
呼吸用保護具 手の保護具 目、顔面の保護具 皮膚及び身体の保護具	防塵マスクを着用すること。 ゴム手袋を着用すること。 保護眼鏡、状況に応じフェイスガードを着用すること。 保護手袋／保護衣／長靴／フェイスガードを着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態 色 臭い 融点・凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 可燃性 爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	固体 白色 データなし データなし データなし データなし データなし
引火点 自然発火点 分解温度 pH 動粘性率 溶解度 n-オクタノール／水分配係数 (log値) 蒸気圧 密度及び／又は相対密度 相対ガス密度 粒子特性	データなし データなし データなし 7.6～10.2(水溶液、1/0 wt%) データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性 化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	データなし データなし 炭酸ナトリウムや炭酸水素ナトリウムが目と接触すると、視力低下や失明のおそれがある。 水に溶かすと、炭酸ガス(二酸化炭素)を発生して発泡する。 項目7を参照すること。 強酸、有機過酸化物など 二酸化炭素
11. 有害性情報	
急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:気体) 急性毒性(吸入:蒸気)	データなし データなし データなし データなし

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	データなし														
皮膚腐食性／刺激性	データなし														
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし														
呼吸器感作性	データなし														
皮膚感作性	データなし														
生殖細胞変異原性	データなし														
発がん性	データなし														
生殖毒性	データなし														
生殖毒性・授乳影響	データなし														
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし														
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし														
誤えん有害性	データなし														
12. 環境影響情報															
水生環境有害性 短期(急性)	データなし														
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし														
生態毒性	データなし														
残留性	データなし														
分解性	データなし														
生体蓄積性	データなし														
土壌中の移動性	データなし														
オゾン層への有害性	データなし														
13. 廃棄上の注意															
環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	焼却処理する場合には、可燃性溶剤に溶解又は混合した後、アフターバーナー及びスクラバーを備えた焼却炉で焼却すること。														
残余廃棄物(化学品)	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。														
汚染容器及び包装	空容器を処分する時は、内容を完全に除去した後に行うこと。														
備考	適切な保護具を着用すること。 地方条例や国内規制に従うこと。														
14. 輸送上の注意															
国際規制	<table> <tr> <td>国連番号</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>品名(国連輸送名)</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>国連分類(危険有害性クラス)</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>国連分類(危険有害性クラス:副次危険)</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>容器等級</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>海洋汚染物質(該当・非該当)</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)</td><td>該当なし</td></tr> </table>	国連番号	該当なし	品名(国連輸送名)	該当なし	国連分類(危険有害性クラス)	該当なし	国連分類(危険有害性クラス:副次危険)	該当なし	容器等級	該当なし	海洋汚染物質(該当・非該当)	該当なし	MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)	該当なし
国連番号	該当なし														
品名(国連輸送名)	該当なし														
国連分類(危険有害性クラス)	該当なし														
国連分類(危険有害性クラス:副次危険)	該当なし														
容器等級	該当なし														
海洋汚染物質(該当・非該当)	該当なし														
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)	該当なし														
国内規制がある場合の規制情報	<table> <tr> <td>海上規制情報</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>航空規制情報</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>陸上規制情報</td><td>該当なし</td></tr> </table>	海上規制情報	該当なし	航空規制情報	該当なし	陸上規制情報	該当なし								
海上規制情報	該当なし														
航空規制情報	該当なし														
陸上規制情報	該当なし														
緊急時応急措置指針番号*	該当なし														
* 北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「Emergency Response Guidebook (ERG)」(一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている(発行元:日本規格協会)に掲載されている。															
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にし、法令の定めるところに従う。														
15. 適用法令															
労働安全衛生法	炭酸ナトリウム:ラベル表示・SDS交付義務対象物質(規則別表第2の1189)【炭酸ナトリウム】、不浸透性保護具使用義務物質【炭酸ナトリウム】、区分【皮膚刺激性有害物質】														
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当なし														
毒物及び劇物取締法	該当なし														
その他の国内法令	外国為替及び外国貿易管理法(輸出入貿易管理令別表第1の16の項)														
外国法令等	食品衛生法(規格基準告示別表第1第2表:添加剤)														
備考															
16. その他の情報															
参考文献	GHS分類に関するツール、及び、GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) (経済産業省) 国際化学物質安全性カード (ICSC) NITE-Gmiccs、化学物質総合情報提供システム(CHRIP) (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) 職場のあんぜんサイト、モデルSDS (厚生労働省) 事業者向けGHS分類ガイダンス (令和元年度改訂版、経済産業省)														
備考	このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠して作成しております。 このSDSは、我々が知り得た情報を基に作成しておりますが、記載データや危険性・有害性の評価に関しては、その安全を保証するものではありません。また、該当製品の情報を全て検証しているわけではありません。 ご使用に先立ち、危険性・有害性情報の収集に加えて、ご使用になる機関・地域・国の最新の規則・条例・法規制などを調査し、使用者自身の安全を最優先してご使用ください。 すべての化学製品は、未知の危険性を持つ認識で扱うべきであり、その危険性は使用環境・扱い方・保管の状態・保管の期間によって大きく異なります。 取り扱いの際は安全確保を最優先し、ばく露を避けるよう十分ご注意ください。														